全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、７月末に文部科学省から公表されました。また、学校には、学校全体の調査結果や調査対象である３年生の生徒の個人票が送付されました。

本校では、中学校の３年間を見通した一貫した教育の充実が大切であるとの認識のもと、学校における各学年の生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるとともに、家庭における生徒の生活習慣、学習習慣等の充実につなげるため、調査結果を分析しました。その概要を保護者の皆様にお知らせします。

つきましては、８月 31 日に３年生の各生徒に配付する個人票と合わせて、この調査結果及び分析結果をご覧いただき、学校の取組に対しまして、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いします。

また、１年生から３年生までの全ての生徒の「頑張り」をさらに伸ばし、課題を克服できるように、各家庭での教育の充実につなげていただきますようお願いします。

◆調査実施日：平成 30 年４月 17 日

◆調査対象：全国の小学校６年生・中学校３年生

◆調査内容　①教科に関する調査（国語・算数／数学・理科）

・主として**知識**に関する問題（**Ａ問題**）

・主として**活用**に関する問題（**Ｂ問題**）

※理科については、知識に関する問題と活用に関する問題を一体的に出題。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する調査）

・学校に対する調査（指導方法の工夫、教育条件の整備の状況等に関する調査）

◆調査結果の取扱いに関する配慮事項

※平成 30 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領（平成 29 年 12 月　文部科学省）から抜粋

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

１　教科に関する調査の結果（概要）

本校の結果については、表１（ｐ３）のとおり、国語Ａ・Ｂ、数学Ａ、理科の調査内容で全国の平均正答率を上回っており、その差は、国語Ａで＋2.3％、国語Ｂで＋0.1％、数学Ａで＋5.1％、理科で＋2.1％です。これらの調査内容については、学校全体として、基礎的・基本的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について良好な状況が見られます。

一方、数学Ｂの調査内容については、全国の平均正答率を 1.2％下回るとともに、平均正答率自体も全国及び三重県と同様 50％未満となっており、前年度までに身に付けた数学の知識・技能を活用する力に課題が見られます。

問題別の平均正答率・無解答率について、本校と全国とを比較すると表２のとおりとなります。

平均正答率の比較では、数学Ｂで全国平均を上回る問題数と下回る問題数が同数、それ以外では全国平均を上回る問題数が下回る問題数よりも多くなっています。特に、国語Ａ、数学Ａについては、全国平均を上回る問題数が70%以上となっており、知識・技能の習得において良好な状況が見られます。

また、無回答率については、国語、数学、理科の全ての調査内容で、全国平均よりも高い割合の問題数はわずかです。また、無回答率が０％の問題（全員が何らかの解答をしている問題）は、数学Ｂ以外では50%を超えています。これらのことから、生徒たちが難しい問題でも最後まで粘り強く考え、解答を書こうと努力した状況が見られます。

今後、間違えた問題の解き直しを行い、定着できていない内容について、授業や家庭学習で振り返りの学習を行うことが大切です。

【表１】教科に関する調査結果（教科別の平均正答数・平均正答率）

	国語Ａ (32 問)		**国語Ｂ**（９問）		**数学Ａ** (36 問)		**数学Ｂ** (14 問)		**理科** (27 問)	
	平均正答数（問）	平均正答率（%）	平均正答数（問）	平均正答率（%）	平均正答数（問）	平均正答率（%）	平均正答数（問）	平均正答率（%）	平均正答数（問）	平均正答率（%）
五十鈴中	**25.1 ／32**	**78.4**	**5.5 ／ 9**	**61.3**	**25.6 ／36**	**71.2**	**6.4 ／14**	**45.7**	**18.4 ／27**	**68.2**
三重県	24.1 ／32	75.3 +3.1	5.4 ／ 9	59.7 +1.6	24.0 ／36	66.6 +4.6	6.4 ／14	45.7 0	17.8 ／27	66.0 +2.2
全　国	24.3 ／32	76.1 +2.3	5.5 ／ 9	61.2 +0.1	23.8 ／36	66.1 +5.1	6.6 ／14	46.9 −1.2	17.9 ／27	66.1 +2.1

※各教科の問題数は、国語Ａが 32 問、国語Ｂが９問、数学Ａが 36 問、数学Ｂが 14 問、理科が 27 問であり、平均正答数は、生徒が正解した問題数の平均です。
※平均正答率は、平均正答数を問題数で割った値をパーセンテージで表しています。
※各欄における「＋」「－」を付けた数値は、五十鈴中学校の平均正答率との差を表しています。

【表２】問題別の平均正答率・無解答率の状況（本校と全国との比較等の状況）

	全国の平均正答率・無解答率との比較	**国語Ａ** (32 問)	**国語Ｂ** （９問）	**数学Ａ** (36 問)	**数学Ｂ** (14 問)	**理科** (27 問)
平均正答率	全国を**上回る**	24 問(75%)	５問(56%)	28 問(78%)	７問(50%)	17 問(63%)
	全国を**下回る**	８問(25%)	４問(44%)	８問(22%)	７問(50%)	10 問(37%)
無解答率	**全国を上回る**	２問(６%)	０問(０%)	３問(８%)	３問(21%)	３問(11%)
	０%（全員が解答）	21 問(66%)	６問(67%)	21 問(58%)	１問(７%)	14 問(52%)

※上の表は、問題別の平均正答率・無回答率を、本校と全国とで比較した結果等を示しています。
※各欄の数値は問題数を表しています。(　) 内の数値はその割合で小数第１位を四捨五入しています。

＜今後の取組＞

今回の調査で明らかとなった生徒の「頑張り」を更に伸ばすとともに課題を克服するため、学校では、引き続き、次のような指導の充実・改善を図ります。

◆「基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着」については、授業での「めあて」の提示や「振り返り」の時間確保、繰り返し指導や個別指導、習熟の程度に応じた指導などの充実に、引き続き、学校全体で取り組みます。また、家庭学習の内容や見届け・励ましの充実について教職員間で共通理解を図るとともに、家庭と連携して予習・復習などの学習習慣を身に付ける取組を進めます。

◆「知識・技能を活用するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成」については、「日常生活の事象の解決に、知識・技能を活用して考える指導」、「文章と図やグラフなどとを関係付けて、自分の考えをまとめる指導」、「根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり書いたりする指導」などを行います。そのため、授業での教材の工夫や指導方法の改善、グループ学習や発展的な学習の充実、少人数指導や教師間の協力的な指導の充実などの取組を進めます。

２　生徒に対する質問紙調査の結果（概要）

◇質問事項は、学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する５９項目です。
◇回答は、各質問事項について「①当てはまる」「②どちらかといえば、当てはまる」「③どちらかといえば、当てはまらない」「④当てはまらない」などの段階的な選択肢から選ぶ形になっています。
◇各質問事項に対する本校生徒の「肯定的な回答」（上記①②など）について、全国や三重県のものと比較するなどの分析を行いました。本校の特徴的な状況は次のとおりです。

※数値は、本校の「肯定的な回答」の割合です。（　）内の数値は、「肯定的な回答」の割合の本校と全国との差で、「＋」は本校が全国を上回っていること、「－」は本校が全国を下回っていることを表しています。

○学習に対する関心・意欲・態度については、全般的には理科は良好であり、数学に課題が見られる。
・数学の勉強は大切だと思う：75.7％（－7.9）、数学の授業の内容はよく分かる：54.2％（－16.8）
・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える：29.0％（－9.7）
・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている：80.4％（＋10.0）
・理科の勉強は大切だと思う：76.6％（＋6.0）、理科の授業の内容はよく分かる：82.3％（＋12.3）
・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える：43.9％（－1.5）
・理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している：64.5％（－7.8）

○言語活動に関する学習状況では、発表するときに自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫したり、話し合う活動を通じて、考えを深め、広げたりすることができるよう、学習活動の一層の充実を図る必要がある。
・1・2年生の授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫していた：55.2％（＋1.4）
・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている：74.7％（－1.6）

○学習習慣では、家庭での学習時間、自分で計画を立てた勉強については、いずれも全国を下回っており、課題が見られる。家での予習・復習については、全国を上回ってはいるものの50%台にとどまっており、家での学習習慣を更に身に付ける必要がある。読書については、平日の読書時間が全国を下回っており、読書習慣を更に身に付ける必要がある。
・学校の授業以外に、平日、１日当たり２時間以上勉強をする（塾等の勉強時間も含む）：31.8％（－4.6）
・家で、自分で計画を立てて勉強をしている：51.4％（－0.7）
・家で、学校の授業の予習・復習をしている：58.9％（＋3.7）
・学校の授業以外に、平日、１日当たり30分以上読書をする：24.4％（－6.5）

○基本的生活習慣では、朝食の摂取状況、就寝・起床の習慣について、いずれも全国を上回っており、相当数の生徒に良好な状況が見られる。基本的生活習慣を更に身に付けることが大切である。
・朝食を毎日食べている：96.3％（＋4.4）
・毎日、同じくらいの時刻に寝ている：74.8％（＋0.6）、起きている：91.6％（＋1.3）

○家庭でのコミュニケーションでは、家の人と学校での出来事について話をすると回答している生徒の割合が全国平均を上回っており、良好な状況が見られる。82.3％（＋6.3）

○地域との関わりでは、地域の行事への参加、よりよい地域・社会づくりに向けた活動意識については全国を上回っているものの、地域社会のボランティア活動への参加については全国を下回っている。
・今住んでいる地域の行事に参加している：58.9％（＋13.3）
・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある：42.0％（＋3.3）
・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある：38.3％（－13.5）

○自尊意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。
・自分には、よいところがあると思う：79.5％（＋0.7）
・将来の夢や目標を持っている：77.6％（＋5.2）

○規範意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。
・学校の規則を守っている：98.1％（＋3.0）
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う：95.3％（－0.2）
・人の役に立つ人間になりたいと思う：95.3％（＋0.4）

○放課後・週末の過ごし方は、全国と同様、部活動がトップで、次いでＴＶ、ゲーム、インターネット等。
※選択肢から当てはまるもの全てを選ぶ質問。以下は、本校で割合の高い５項目。（　）内は全国の割合。
＜放課後＞　①部活動:96.3％(82.2％)、②家でTV・ﾋﾞﾃﾞｵ・DVDを見る、ｹﾞｰﾑやｲﾝﾀｰﾈｯﾄをする:85.0％(77.3％)、③家族と過ごす:60.7％(50.2％)、④学習塾等で勉強:52.3％(42.1％)、⑤家で勉強や読書:37.4％(42.2％)
＜週末＞　①部活動:91.6％(69.4％)、②家でTV・ﾋﾞﾃﾞｵ・DVDを見る、ｹﾞｰﾑやｲﾝﾀｰﾈｯﾄをする:89.7％(80.1％)、③家族と過ごす:70.1％(61.3％)、④友達と遊ぶ:59.8％(56.0％)、⑤家で勉強や読書:36.4％(41.0％)